

【平成25年度 宮崎県立宮崎南高等学校 学校関係者評価書】

評価項目	具体的な方策 (P)	結果と課題 (D)	自己評価 (c)		改善策 (A)	学校関係者評価			
			項目別	総合		評価		コメント	
						項目別	総合		
1 学力向上 *教務部 *進路指導部 *教育相談部 *情報教育部	①質の高い授業の追求 ア)年2回の公開授業と授業研究の研修会を実施し、教科指導力の向上を図る。 イ)先進校視察や外部セミナー等への参加し、授業力の向上を図る。 ウ)成績結果等の評価・検討を行い、適切に授業や課題等に反映させる。 ②自己教育力の育成 ア)面談週間、家庭学習調査等を通じた学習環境や学習方法の改善を図る。 ③キャリア教育の推進 ア)キャリア教育学校全体計画を作成する。 イ)テーマ別ミニ講演会の充実、オープンキャンパス等への参加を推進する。 ウ)キャリア教育の視点から授業改善を行う。	(結果) ・授業公開を実施するとともに、授業に関する職員研修を開催し授業に関する研究を深めた。 ・校外視察に15名、外部セミナーに4名参加し、報告等を行い全職員で共有することができた。 (課題) ・授業研修の計画的な実施や内容について、更に工夫が必要である。 ・学力検討会を各学年実施したが、実際の授業等へ反映させるためには時間が必要である。	3	3	①授業公開、授業研修、授業改善が連動でき、質の高い研修ができるよう綿密に計画する。 ②定期考査や実力テスト等の成績結果を担当で評価・分析し、各学年や教科と連携しながら授業や面談等に反映させる。	3	3	自己評価については、校務分掌や学年等で協議された内容を基に検討に検討を重ねられた結果だと思えます。「結果と課題」「改善策」が、簡潔にまとめられており、自己評価が的確になされていると感じました。年間反省に「学校経営ビジョン推進に係る成果」が記載されており、平成26年度に向けてのアクションプランのとても良いアプローチになったのではないのでしょうか。 学校にお伺いをし、生徒の活動や先生方のご指導に触れるたびに、より真剣で活発な活動が目につきました。 授業では、質的にも充実しているように感じましたが、一部ですが気力のない生徒も見受けられましたので、魅力的な授業の研究と生徒の目的意識の確認を更に進めて下さい。1年間の学校経営の凝縮が、あの感動的で素晴らしい卒業式だったのでないでしょうか。	
			3						①計画的な面談や学習調査を継続するとともに、常時面談において生徒の変容の把握に努める。
			4						①作成したキャリア教育の全体計画や具体的な取組を基に、キャリア教育の視点を意識して学校行事や授業に取り組む。 ②生徒の進路意識を醸成するため系統的な進路指導を行う。
2 進路目標の達成 *進路指導部 *渉外部 *情報教育部 *図書部	①確固たる進路意識の醸成 ア)「育鵬」「合格体験記」等を用いて、進路指導の充実を図る。 イ)「図南タイム」や「総合科学」の内容改善や充実を図る。 ②進路指導体制の見直し ア)生徒の実態を把握し、朝補習や放課後課外等の見直しを図る。 イ)3年間を見通した進路指導体制の在り方を構築する。 ③キャリア教育の充実 ア)鵬ドリカム講座、インターシップ等を実施する。 イ)高大連携を継続、充実させ、生徒の進路意識の醸成を図る。	(結果) ・総合的な学習の時間やLHRの時間を利用して、各種教材を用いての進路啓発や進路指導を実施できた。 (課題) ・3年間を見通した計画的な進路指導の在り方について、検討する必要がある。 (成果) ・3年生の放課後課外を選択制にすることで学習意欲の喚起につながった。 (課題) ・3年間を見通した進路指導の在り方や体制づくりを検討する必要がある。 (結果) ・鵬ドリカム講座は、同窓会組織の支援・協力もあり、充実した内容で実施できた。 (課題) ・インターシップの実施や高大連携の在り方については、現在検討中である。	3	3	①3年間を見通した進路指導の在り方をキャリア教育の視点も踏まえながら、来年度実施に向けて現在検討中である。 ①課外の在り方については、更に検討していく。 ②3年間を見通した進路指導の在り方とともに、実施に向けての体制づくりを行う。 ①インターシップの実施に向けて、同窓会とも連携を図りながら、進めていく。 ②高大連携を含めた放課時の活用については、更に検討を進める。	3	3		
			4						
			3						

(注) 4段階評価・・・ 4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

評価項目	具体的な方策（P）	結果と課題（D）	自己評価（c）		改善策（A）	学校関係者評価		
			項目別	総合		評価		コメント
						項目別	総合	
3 幅のある生徒を育成 * 生徒指導部 * 図書部 * 保健部 * 環境整備部 * 教育相談部	①「三兎追う」をめざし 挑戦する気概の育成 ア)FORMを通して言葉遣いや行動様式を身につけさせる。 イ)学校行事の精選を図り、生徒の主体的活動の推進する。 ウ)時間管理を行い、質の高い部活動に取り組む。	(結果) ・入学時の生活指導は予定通り実施できた。 ・生徒会を中心として、充実した学校行事を展開することができた。 (課題) ・集会時などにおいて、生徒が目的意識をもって行動できるようより一層の指導が必要である。 ・生徒自身が考えて主体的に行動できるよう意識付けや指導が更に必要である。 ・部活動規定を遵守した活動がより充実するよう更に啓発する必要がある。	2		①生徒会や各種委員会の活動が活発になるよう更に支援・指導していく。 ②生徒が主体的に判断し行動できるように仕掛けや事前指導などを充実させる。 ③学習と部活動の両立を図れるよう教師間での連携を充実させるとともに、時間管理や学習管理を行う。	2		学校に伺うたびに生徒のすばらしさに感動しています。ただ、受け身的な生徒が多いようにも思われます。自ら考え自ら行動できる生徒の育成を今後とも充実して欲しいと思います。「学校経営ビジョン」実現のため、アクションプランの検討項目等にあるように生徒会との連携を図り「生徒の力」を最大限に活用されてはどうでしょうか。 2回の授業公開で参観させて頂きましたが、1回目より2回目の授業の方が、全般的に授業展開や指導技術は向上しているように思えました。ただ、「この授業では生徒が可哀想だ」と感じた授業もありましたので、教科担任全員が責任感を持ち、課題解決に全体で取り組んで欲しいと思います。 アクションプランの検討項目等について、生徒の立場で評価可能なことは評価させてみることも考えられます。 また、生徒が自分が住んでいる地域でのボランティア活動に参加するなど社会的な活動を推進して欲しいと思います。
	②「人間力」の育成 ア)「朝の読書」など読書活動を充実させる。 イ)清掃の徹底を図り、学校美化のみならず、環境問題への関心を深める。 ウ)健康講話やWYSH教育等を実施し、生徒の心身の健康の伸長を図る。	(結果) ・6月より「朝の読書」を実施することができた。 ・ゴミの分別の収集の方法について改善することができた。 ・性教育講演会やWYSH教育を実施できた。 (課題) ・日常的な読書活動をより充実させる必要がある。 ・清掃の徹底については、生徒が主体的に取り組むことができるよう更に指導が必要である。	3	3	①「朝の読書」の更なる定着を図るとともに、日常的な読書活動の充実を図る。 ②生徒が主体的に清掃活動ができるよう指導の徹底を図る。 ③健康や性に関する教育をより充実させ、豊かな人間性を育てる。	3	3	
	③「共生」意識の醸成 ア)挨拶を徹底し、諸活動に主体的に取り組むことができる力を養う。 イ)安全教育や職員による立ち番指導の実施で、交通安全意識を高め、登下校等の安全を図る。 ウ)人権教育や教育相談等を充実させ、いじめ等の撲滅を図る。 エ)適切な防災訓練を実施し、防災意識の高揚を図る。	(結果) ・交通立ち番指導については、全職員で分担し、登下校の安全を図ることができた。 ・人権教育を計画に従って実施することができた、生徒に自己肯定感や存在感をもたせる指導を工夫して行うことができた。 ・防災訓練については、外部講師を招くなど、計画的な実施できた。 (課題) ・生徒の登下校の交通マナー等については、継続的な粘り強い指導が必要である。 ・防災訓練については、あらゆる災害に対応できるよう内容について工夫していく必要がある。	3		①挨拶の励行や交通安全意識の醸成、登下校のマナーなどは、粘り強く継続的に指導していく。 ②人権教育は、各学年の状況を踏まえ計画的に実施する。 ③生徒との関わり方について、常に全職員で共通認識をもち、生徒の総合的な成長を図る。 ④防災訓練については、あらゆる状況を想定して訓練を実施する。	3		
4 地域との連携 * 渉外部 * 事務部 * 情報教育部 * 教務部 * 進路指導部	①広報活動の充実 及び中高連携の推進 ア)学年通信や学校通信、学校HPを充実させ、幅広い広報を行う。 イ)オープンスクールや中学校訪問の充実を図る。	(結果) ・各学年とも通信の定期的な発行ができ、学校HPの迅速な更新や充実した内容には、高い評価を得た。 ・オープンスクールは、昨年度並みに多くの中学生の参加があった。 (課題) ・中学校への積極的な訪問が今後必要である。	4		①学年通信や学校HPの充実については、今後も継続していく。 ②近隣中学校へは、招聘される訪問のみならず、積極的に定期的な交流を図る。	4		
	②PTA活動の充実 及び同窓会との連携 ア)保護者と教職員の連携を深め、PTA活動の充実を図る。 イ)「鵬ドリカム講座」等の実施を通して、同窓会との連携を図るなど、学校外の教育資源の活用を図る。	(結果) ・「合格うどん」やPTA主催の講演会など、生徒に実のある行事を実施することができた。 ・「鵬ドリカム講座」では、同窓会の全面的な協力の基、充実した内容となった。 (課題) ・PTAと更に連携を深めるとともに、協働して行事の開催などは、計画的に進める必要がある。	3	3	①PTAや同窓会とは、緊密に連絡、連携を取りながら、各種行事等への支援・協力等を依頼していく。	3		

(注) 4段階評価 …… 4：期待以上 3：ほぼ期待どおり 2：やや期待を下回る 1：改善を要する